

日本はどんなものを世界から買っているの？

貿易の仕事 輸出や輸入の仕事 世界とつながる仕事

JFTC 一般社団法人 日本貿易会
<https://www.jftc.or.jp/>

毎日便利に使っているエネルギーや、気軽に食べたり飲んだりしているものも、日本では生み出せず、海外から買っているものがたくさんあります。日本が輸入しているものについて、日本貿易会に教えてもらいました。

A エネルギー資源から食料、機械まで、さまざまなものを買っているよ。

ヒナタとユイが手に入れたのは、日本では手に入れるのが難しいものがゲットできる、輸入先を記した宝の地図。それぞれのマークは何を意味するのでしょうか？ 地図とヒントを見て、一緒に推理してみよう！（2020年の統計における上位国です）

一の宝

カタール ロシア
マレーシア アメリカ
オーストラリア

ヒント

- ・地中に埋まる燃料の一種
- ・石油や石炭よりも環境に優しく、発電や家庭用など幅広いエネルギー源として重宝される

二の宝

カナダ アメリカ
ドイツ フランス
オーストラリア

ヒント

- ・パンにもパスタにもラーメンにも変化
- ・アメリカ、カナダ、オーストラリアなどの広大な土地で大量に生産すると、安く手に入る

三の宝

中国 アメリカ
タイ ベトナム
マレーシア

ヒント

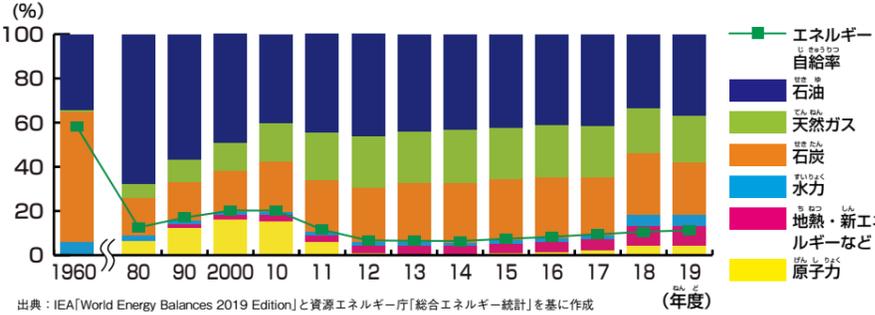
- ・日本で作られた部品を輸出。海外で組み立てて完成品として輸入されるものもある
- ・アジアの工場で作られることが多い

一の宝 = 天然ガス(エネルギー資源)

火力発電の燃料にしたり、家で料理を作ったり部屋を温めたり。クリーンなエネルギー源として注目されているのは、天然ガスです。石油や石炭などを含め、日本はエネルギー資源のほとんどを、海外からの輸入に頼っています。現在は8割以上が海外産です。



日本の一次エネルギー源の構成と自給率の移り変わり

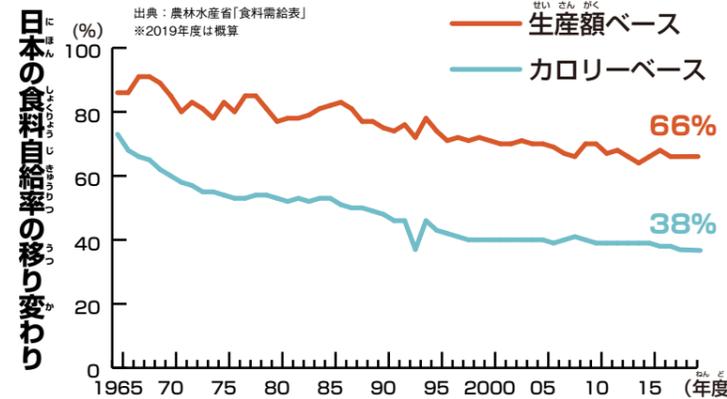


気づいたことを話し合ってみよう

- ▶ 日本のエネルギー自給率は、時代とともにごう変わってきたかな？
- ▶ 輸入されるエネルギー資源は、どんな国からやってくるのかな？ 調べてみよう。
- ▶ 以前と比べて増えたのは、どんな発電方法かな？ それはどうして増えたのかな？

二の宝 = 小麦(食料)

パンやパスタは、もともと日本の食文化にはなかったもの。原料となる小麦は、ほとんどを輸入に頼っています。また、日本の狭い国土では大量生産しにくい農作物も、海外の大農場で作れば、安く生産することができます。小麦だけでなく、牛や豚の飼料なども含め、日本は食料の約8割を海外から輸入しているのです。



気づいたことを話し合ってみよう

- ▶ 日本の食料自給率は、どうして下がり続けているのかな？
- ▶ スーパーの食料品売り場に並んでいる食品は、どこからやってきたのかな？ 産地を調べてみよう。
- ▶ もしも輸入ができなくなったら、毎日の食生活は、どんなふうになってしまうのかな？

三の宝 = 通信機(機械)

日本の輸出品目のうち、2番目に多い「半導体等電子部品」は、中国や台湾などのアジアに輸出されます。その後、現地で組み立てられ、再度部品として、あるいはスマートフォンなどに姿を変えて、輸入されます。

日本の輸出・輸入上位10品目(2020年)

	輸出	輸入
1位	自動車 14.0%	原油及び粗油 6.8%
2位	半導体等電子部品 6.0%	液化天然ガス 4.7%
3位	自動車の部分品 4.3%	医薬品 4.7%
4位	鉄鋼 3.8%	通信機 4.2%
5位	半導体等製造装置 3.7%	衣類・同付属品 4.0%
6位	プラスチック 3.5%	半導体等電子部品 3.7%
7位	原動機 3.2%	電算機類(含周辺機器) 3.5%
8位	科学光学機器 2.9%	非鉄金属 2.5%
9位	電気回路等の機器 2.5%	科学光学機器 2.5%
10位	非鉄金属 2.3%	石炭 2.5%

出典：財務省貿易統計から

気づいたことを話し合ってみよう

- ▶ 日本の輸出品と輸入品には、どんな特徴があるかな？
- ▶ それぞれの品目は、どんな国と貿易されているのかな？ 調べてみよう。
- ▶ もしも貿易ができなくなったら、日本の産業はどうなってしまうだろう？ みんなで考えてみよう。